

平成 18 年度鳥取市政懇話会 第 2 回地域づくり部会議事要旨

日時：平成 18 年 9 月 1 日（金）午後 1 時 30 分～3 時 45 分

場所：鳥取市役所本庁舎 4 階第 2 会議室

出席者

【委員】下石委員、木村肇委員、田中英教委員、西尾委員、乾委員、八村委員、久本委員、福島委員、三田委員 <欠席 神部委員、田中仁成委員、谷口委員>

【鳥取市】竹内市長、津村企画推進部長、窪田地域振興室長 <事務局（企画調整課）> 羽場企画調整課長、中原主任

あいさつ

部会長 一言ごあいさつ申し上げます。第 2 回目の部会ということでお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。今日も報告を受けていろいろとご検討をお願いしたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

竹内市長 4 月に再選を果たしまして、6 月に肉付けとなる補正予算により、各総合支所の中で支所職員、地域審議会委員をはじめ地域のご意見を聞きながら活性化策を検討するように合併地域活性化推進事業に取り組んでいます。検討に要する費用と今年度新たに予算の範囲内で地域を活性化させようと 8 つの総合支所で 420 万円の予算化をしております。この取組みが各総合支所によりスタートしたことが私にとっても喜ばしいことであり、是非推進を図っていききたい。今後の展開としては、各地域で取り組んできたイベントなどを行う地域特定予算として確保してきましたが、スクラップアンドビルドの考え方で新たな地域振興策に充てていききたい。合併地域のそれぞれ独自の活性化策を大きな取組みの一つに位置付けております。

もう一つは、マニフェストにもありますが人口が増加する住みよいまちづくりということで、中山間地、中心市街地の人口減少が激しい中、今後は人口を増やすよう定住対策をしていききたい。人口増加対策は総合的に取り組まなければいけません。一つは、若い人が地域に定住するために働く場を確保する。その若い人たちが子どもを産み育てやすい環境を整える施策の充実、他の地域に住んでいる方に住んでいただく人口増加策を推進していききたい。もちろん今住んでいる人にも元気で生活していただきたい。本日ですが、定住促進と U ターンに対する支援相談窓口を設置して取組みをはじめたところで

す。

もう一つは、地域コミュニティの充実、強化をずっと申し上げておりますが、公民館の果たす役割は大きく、地域の課題に対して自治組織の仕組みが機能するようにしていきたい。また、地域の公民館活動を活性化していきたい。

この地域づくり部会では、今地域に必要なものは何かをご議論をしていただき、これだけはというような事がありましたら、真剣に受け止めていききたいと思っています。きたんのない議論をお願いします。この後にどうしても出なければいけない会議があり、失礼しますが、後日、事務局より本日の内容の報告を受けたいと思います。

連絡・報告

部会長 ありがとうございます。それでは、若干事務局から報告事項があるようですので、そちらから先に入らせていただきます。

事務局 第1回の部会で、鳥取自動車道に関して用瀬パーキングの位置を地図に表示はできないのかと、委員さんから質問をいただいていたので回答します。事務局が確認しましたところ、地図に標記するには申請が必要で、現在準備は進めていますが、まだ正式手続きが完了しておらず、現時点では、対外的に発表することは困難であると回答を得ています、ただ、前向きに事業進捗を図っている状況であります。

委員 わかりました。

事務局 これまでの経過と本日の議事について、報告します。先回の第1回目の会議でメインテーマを「中山間地域（合併地域）の振興について」と決め、サブテーマを 1. 「鳥取自動車道開通後の中山間地域（合併地域）の振興策」、2. 「中山間地域（合併地域）のコミュニティの充実・強化」の二本立てでいこうとなっております。そのうちの一つのサブテーマの「鳥取自動車道開通後の中山間地域（合併地域）の振興策」について、3人の方から現状、課題について報告をいただき意見交換をしております。

本日は、前回の意見交換を踏まえてサブテーマの「鳥取自動車道開通後の中山間地域（合併地域）の振興策」の対応策、解決策をご検討いただき、その後、2つ目のサブテーマである「中山間地域（合併地域）のコミュニティの充実・強化」についての意見交換をしたいと思います。

本日配布した、資料1から資料4までの説明。（省略）

以上で報告を終わります。議事の進行は部会長さんよろしくをお願いします。

協議内容

部会長 ありがとうございます。それでは議事の進行をします。中山間地域（合併地域）のコミュニティの充実・強化の意見交換の前に、鳥取自動車道開通後の中山間地域（合併地域）の振興策について、事前に意見をいただいているようですので、そちらからやっていきます。西尾さんからお願いします。

委員 前回の報告を受けて、中山間地の具体的な意見をあげました。報告を受けてそれぞれ素晴らしい取り組みをしておられますが、もっと集客ができ更に活性化できるように、横の連携が必要であると感じました。取り組みの具体的事例として、農産物の販売や賀露いちのように飲食できるような店、東部全体をわかりやすく記号などを統一して表示したマップの作成、一地区一品の得意料理を作りグルメマップを作成してはどうでしょうか。

委員 中山間地の振興は、都市との交流の活性化だと思います。定年退職後の人は、自然とのふれあい、癒しなどを求めています。高速道路開通後には、大阪、神戸などの関西圏の中高齢者の受け皿として絶好の機会だと思います。金曜日、土曜日からの滞在型のグリーンツーリズムの受け皿を組織的にやってはどうか。こうすることによって、梨やびわ、りんごなどのもぎ取り体験、地域特産品づくりを通じた地域住民との交流が深まり、活性化していくものと思います。そのためにも、連携した組織づくりを構築していく必要があると思いました。

委員 それぞれの地域で、皆さんがんばっておられるなと思いました。感想的な意見になりますが、佐治では、佐治谷話の全国的な交流ができたらし、さじアストロパークでは、ランキングが2位ではもったいないのでぜひとも1位を目指してほしいです。鹿野の鬼入道では若者ががんばっており、拍手を送ってあげたいなと思いました。若者に対して地域住民が協力する体制を、全体に広めていただきたい。あと、ミュージカルなどもやっていてこれからもがんばっていただきたい。青谷の和紙工房については、最初は産業振興ということで、世界的な規模の現在作家の作品展などがあったように思いますが、最近は、その辺が下降気味かなと感じます。人が足りない、予算がないなどが聞こえてきています。青谷上寺地遺跡などとタイアップして青谷をどんどん活性化していただきたい。

部会長 私は、前回の報告を受けて長期的な振興策と短期的な振興策としてまとめてみました。これからは、全体的にみて都市と農村の交流であろうと思、資源を活用した振興策を展開する必要があると思います。長期的には、農業体験、漁業体験、食、温泉などと、今クローズアップされている健康を結び付けて何かできないものかと思う。特に、森林がもつ癒し効果を活用して、森林浴ウォーキングをして汗を流し、温泉に入るとい、事を考えてみてはどうか。文化的な要素を求めている方には、歴史、文化財町並みなどを歩き、温泉に入るなども考えられると思います。今心配している事として、中心市街地の振興があります。中心市街地が活性化すること、それによって中山間地も活性化する事は無縁ではないと思う。中心市街地にマンションが建ちつつあるが、そこに住む人たちはどのような消費活動をするのであろうかと思う。そこで、最寄り品を中心にありふれた商店街も考えてみたい。短期的にも、空き店舗を活用してありふれた物売っていくとかも考えられるし、高齢者を対象にした定期的な市、フリーマーケットなど楽しさを体験できるような、近隣の商店街のようなものができないか。他県でもあるようですが、これからは身近な商店街の振興が必要である。中山間地の特産を集めた、食の祭典をしてはどうか。市、縁日を開いてはどうか。旅行会社と提携した買い物ツアー、地域の年間を通じたイベント暦を定期的に配布して集客してはどうか。インフラの整備では、市町道、農道の道標の整備に心がける必要があると思う。当たり前ですが、観光施設の案内表示も再点検する必要があるのでは。

事務局 今日は欠席の田中委員さんから、事前に意見をいただいていますので、報告させていただきます。市街地と中山間地の交流の促進（旧町村単位、町内会単位での文化、スポーツ、特産品交流）、旧町の特産品の交流フェアの開催（持ち回りでそれぞれの地域自慢大会のようなイベント）、小学校レベルでの合同文化発表会（スポーツ大会のみならず、地域文化の伝承として）、「田舎体験ツアー」の実施（姉妹都市、姫路や京阪神の親子に呼びかける）と意見をいただいております。

部会長 鳥取自動車道開通後の中山間地域（合併地域）の振興策について、いろいろ意見をいただきましたが、さらに時間をいただいて、意見交換をしたいと思いますので、何かご意見ありませんか。

委員 意見というか、ありがとうございました。以前お話ししました組織を昨日12人で立ち上げました。9月の中旬に2回目をするようにしますので、そこで違った視点の入ったものを披露したいと思います。参考にしていただければと思います。

委員 いい具合に皆さんがまとめておられます。盆の 16、17、18 日の 3 日間ですが、グリーンツーリズムで武蔵野市から 7 家族 25 人が鬼入道にやってこられ、私の家にも 2 家族泊まりました。まず、ソーメン流しをするために、山に竹を切りに全員で行ったりと、最初の準備から最後のかたづけまで全員が参加し体験してもらった。そういう自然体験や田舎料理が非常に喜ばれた。また、都会から人が来るように何かを作るのではなく、今あるもので十分対応ができ喜んでもらえる。これからは、高速道路の開通により都市と農村の時間が短縮し交流が活発化され、農村にあるものを活用して都会の人に楽しんでもらう、また、地元の良さを再認識する機会になると思う。

部会長 新しいものを作る必要はなく、今あるもので対応することが大切。最近では何かを体験することで、健康、知識など何かを得るといった事が増えてきている。

委員 話を聞いているだけで楽しさが伝わってきますが、こういう事業の経費をどうしているのですか。

委員 市からの補助があり、募集も市で行っています。申込者が多くてなかなか抽選に当たらないようです。

委員 都会から来られる方は楽しいと思いますが、受入側にはメリットなど何かあるのでしょうか。

委員 グリーンツーリズムとして民家で受け入れると、朝食付きで大人 1 人 1 泊 4 千円いただいています。夕食は、鹿野町内にもお金を落としてもらおうと外食をしてもらっています。受入先の民家で夕食をとる場合は千円いただいています。また、何かこういうものを体験した場合は、千円いただいています。それは、民家によってまちまちです。すごくもうかるわけではありませんが、いくらかの収入にはなっています。

部会長 そういう事でいろいろな話が入ってきますよね。この他何か感じたことがありますか。

委員 部会長がまとめている長期的、短期的、インフラ整備のまとめ方に、皆さんの意見を入れたいと思います。

委員 皆さんがちゃんと言っておられますが、グリーンツーリズム、ブルーツーリズムなど地域の特色を活かして組み立てていければと思います。先日さじアストロパーク、かみんぐさじに行きましたが、大変子どもたちは喜んでいました。この他にも鹿野のミュージカル、演劇など地域の力、まちの文化を享受できるマップやイベント暦に入れていくことが当面することではと思います。

部会長 イベント暦がきちっとできてなくて、いつ何があるのかわかりませんよね。あとは、位置の問題でマップが必要ですね。

委員 今、森林浴や山登り、トレッキングがはやっている。

部会長 国府町に雨滝があるが、この辺とは違ってそこにはイオンが発生している。

委員 いろいろ話しを聞いてみて、旧町村にはたくさんの売りものがあり、これらをどう売っていくのかが、それぞれ地域の責務なのかな感じました。実際に今やっておられることに自信をもち突き進んでいただきたい。それに対して鳥取市としてどこまで手助けができるのか最大限の知恵を使っていく必要がある。高速道路ができることに伴い、中心市街地の空洞化に懸念をもっている。市街地の各地域の人が、自分自身の事として、活性化策に取り組んでいただきたい。

委員 ここでいう中山間地の振興とは、林業従事者を増やすことなのか、中山間地の交流を増やすのかいろいろあると思う。国道から 30 分ぐらい車で走った所にある足立美術館に先日行ったが、このような施設が、鹿野または国府にできないものか。また、民族資料館的なものが作れないものか。市として考えていただきたい。中山間地の振興は、山であれ製材所であれ昔に返してほしい。そうすれば大きな家族が養えるし、地域も活性化してくる。

委員 都市部の高齢者は、自然とのふれあいを好んでいる。グリーンツーリズムなど、佐治の梨、青谷のビワなどのオーナー制度を設けて地域の経済効果を高めてみてはどうか。調べたところ、しいたけの栽培では、佐治 9 戸、鹿野 4 戸、青谷では 26 戸あり、中山間地で山がないとできないですね。そこで、原木に生える様子、もぎとる体験などを通して癒しを感じると思う。農村の高齢化対策、若者が定着するには、企業誘致を進め、所得水準を向上する必要がある。姫鳥線開通にあわせて河原に 3 社程度の誘致企業は必要ではないか。ただ、鳥取の場合は地価が高く、政策的な課題があると思う。

委員 企業誘致したくても、いなかには人材が確保できないのでは。

委員 若者の層が少なく、企業誘致には人材がネックになっていて、中堅企業も呼べなくなっている。

委員 いろんな分野の熟練工はいますよね。

委員 どんどん後継者がなくなってきています。例えば、河原の窯を作るにはいろいろな道具がいるが、その道具を作る後継者がいなくなっている現状がある。

委員 それには、情報の開示と行政を含めて政治家が将来性を見てしっかり方向性を示し、信頼感を与えていくことにより若者も残ってくると思う。

委員 心臓部分しか力を入れてなく、末端はかまわずにいるとどうなるのか。

委員 各地の中山間地の農協の婦人部では、いろいろな食品を作っているが、伝統的な食品をブランド化し採算がとれるようにしないといけないと思う。

委員 技術や能力はあるが人材が不足しているのが現状です。

委員 この特産品を市場に出す、ネーミング、パッケージを作る人材を確保できるのか、販路の拡大に向け戦略をもって開拓できるかが今後は大切である。

委員 きっかけづくりに都市部にアンテナショップが必要だと思う。

委員 各地域には食べ物はいろいろなものがあるが、それをまとめる拠点が必要である。

委員 梨の木を植えたり米を作ったり、魚を獲ったりして生活ができないのか一度原点に戻り、大きな商売として成り立つことは別として、最小限食べていけるだけでないといけない。このことによって子どもが帰ってこないのではないか。酒の自由化に伴い形態が変わる業種などに対して行政が先見性を持って手助けし、一緒にやっていくことが大切ではないか。

委員 若い人でも農業をやりたいと思う人が増えてきている。

委員 やはり最後は、その意欲をどこまで継続できるのか、一人では無理なので行政の側面的な援助が必要ではないでしょうか。

窪田地域振興室長 合併地域活性化推進事業について、資料 2 に基づいて説明（省略）

委員 各総合支所では、地域特定予算の範囲内で、地域の特色あるまちづくりをしているが、この事業では、計画を作るための予算は 50 万円あるということだが、実際にソフ

ト事業をするにはお金がかかるが、それはどうするのか。

窪田地域振興室長 現在、地域特定予算として各総合支所で取り組んでおり、基本はその中の事業についてスクラップアンドビルドという考え方で新たなソフト事業をやっていければと考えているが、事業の内容を見ながら、新たに予算化は可能であると思います。

部会長 中山間地の充実・強化について数名の方から事前に意見をいただいていますので、それぞれお願いします。

事務局 神部委員さんの意見を代わりに説明します。今後の中山間地の充実・強化についてということで、各地域、それぞれ独自の地形、文化、人間性があるので一つの提案がすべての地域に歓迎されることはないので、地域のリーダーが住民の思いや希望に基づいて指導できるよう、民間レベルでリーダー養成をしていく事が、活性化の早道ではないでしょうか。という意見をいただいています。

委員 中山間地の充実・強化については、私は、それぞれの地区公民館は、あらゆる世代の方の活動の拠点となるように充実することが大切だと思います。中山間地では、各総合支所、地域審議会を中心にして活性化策を作っていくことが望ましいと思います。

部会長 地域活動を中心とした活性化対策への支援強化として、納涼祭、運動会、環境保全活動、研修会等の住民の自主活動への支援強化。ふれあいサロンの拡充、強化、地域通貨の活用、公民館活動の円滑な実施体制などの集落規模での活動への支援をしてみてもどうかと思います。2つ目として、地域全体としてのコミュニティの強化では、中山間地でもようやくケーブルテレビが活用できるようになってきたので、ソフト面での技術的なアドバイスによる支援を講ずるなどを行い、双方向の利点を活用した意見交換の場を設けることが大切ではないか。

委員 ふれあいサロンの充実強化とありますが、これは、高齢者の方のためですか。

部会長 高齢者を中心にした事業です。こういうものを活用して、コミュニティが活性化しないかと思います。また、今ですが公民館が地域コミュニティの拠点として、使用するのに遠慮気味な感じがする。

委員 生涯学習の拠点として教育委員会の管轄だけでは、公民館の機能を発揮していなくて、どちらかという福祉の拠点となりつつではと思います。

委員 鳥取地域の自治連はしっかりしているが、合併地域の自治連は今どうなっていますか。

委員 平成19年度を目処に現在、自治連の体制整備をやっているようですが。鳥取地域でも以前の合併した時は、一本化するのに10年かかっていた。

委員 コミュニティの拠点として、公民館が果たす役割は大きいと思います。みんなが気楽に出入りでき、子どもから高齢者までがコミュニケーションできるように認識を高めてほしい。

委員 公民館の活用は、その集落の中でコミュニケーションができるかどうかだと思う。中山間地では高齢者が多くなっていて、助け合いができるような村づくりをしていく必要がある。通常の集落では、村の総会には各家庭の代表者1人だと思いますが、コミュニケーションを図りみんなで地域づくりをするために、私の集落では、男女1人ずつ出るようにしています。昨年より年寄りにも出てきてもらっている。

委員 モデル地域で、やればできるものですね。

事務局 資料4の説明(省略)

次回3回目の部会は11月ごろを予定しており、今日までの意見をまとめ、次回までに郵送させていただきますので、またご意見がありましたらよろしくお願いします。

部会長 以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。